

親知らずは抜かなければいけないの？

正常に生えていて上下の歯でかみ合っている場合、抜く必要はありません。

斜めや横向きに生えて、隣の歯を圧迫しているような場合は、いま問題がなくても近い将来に歯ぐきの炎症やむし歯などの問題発生が予測されます。そのような場合、抜歯の対象になることが多くなりますので、一度歯科医院で相談するとよいでしょう。



親知らずが痛くなったら…

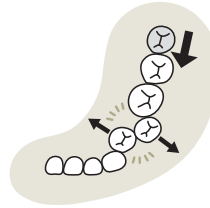
親知らずが腫れて痛みがある場合は歯科医院で受診しましょう。一時的に症状が治まっても、体調が悪くなると再び悪化することになります。

抜歯処置は、腫れや痛みがあるときには行えませんので注意しましょう。



親知らずと歯並び

生えるスペースが不足しているなど、親知らずが前の歯を押して歯並びが悪くなったり、かみ合せに影響することがあります。気になる場合は歯科医院で相談しましょう。

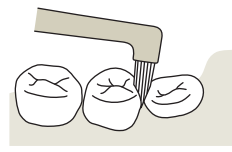


親知らずのみがき方

斜めに生えていたり、生える途中の親知らずをみがくときは、歯ブラシの毛先をきちんと歯に届かせるように意識してみがきましょう。



歯ブラシを斜め横から当て小さく動かしてみがく。



親知らずの手前の歯(第二大臼歯)の後ろ側は、部分清掃用の歯ブラシをつかってみがく。

親知らず編

- 親知らずとは
- 親知らずの特徴
- 親知らずの生え方とトラブル
 - 親知らずは抜かなければいけないの？
 - 親知らずが痛くなったら…
 - 親知らずと歯並び
- 親知らずのみがき方



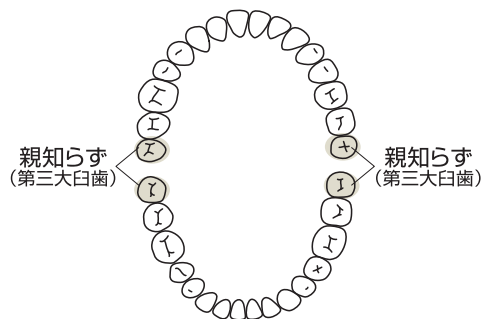
親知らず(第三大臼歯)……生え方によってトラブルの原因になることが多い歯です。

親知らずとは

歯並びの一番奥に生える歯で、第三大臼歯といいます。親の手を離れ物ごとの分別がつくようになった頃に生えてくることから「親知らず」と呼ばれたり「智歯(ちし)」ともいわれます。

生えてくる時期は個人差がありますが一般に18~20歳頃です。

親知らずはほかの奥歯よりも、大きさが小さくなっていたり、もともと親知らずがない人もいます。



親知らずの特徴

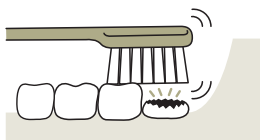
正常に生えない場合が多い

食生活の変化などによってあごが小さくなり、生えるスペースが少なくなる傾向にあるため、正常に生えない場合が多くみられます。



むし歯歯周病になりやすい

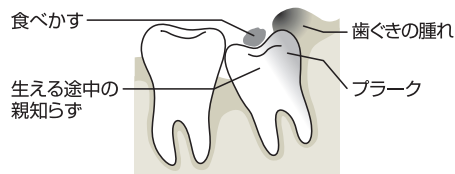
一番奥に生えるため、歯ブラシの毛先が届きにくくプラーク除去が困難です。そのためむし歯や歯周病のリスク(危険度)が高くなります。



ちしゅういん

智歯周囲炎の発症

生える途中や斜めに生えてきた場合、歯と歯肉の間に袋状のすき間ができます。ここに細菌や食べかすがたまりと歯肉に炎症を起こし、腫れや痛みが起きます。このような状態を智歯周囲炎といいます。炎症がひどくなると口が開けにくくなったり、飲み込むときに痛みをとまったりします。



抜歯が困難

一番奥に生えることに加え、正常に生えないことが多いため、抜歯が困難になるケースがあります。

智歯周囲炎の治療

患部の周囲を洗浄しきれいにします。腫れや痛みがひどい場合は、抗生物質や消炎剤が処方されます。炎症がおさまってから抜歯などの処置をします。

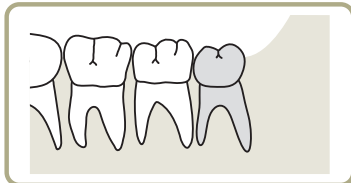
*親知らずが痛むようなことがあったら、早目に歯科医院を受診しましょう。



親知らずの生え方とトラブル

正常に生えない場合が多い親知らず。生え方によってさまざまなトラブルの原因になることがあります。

正常な生え方



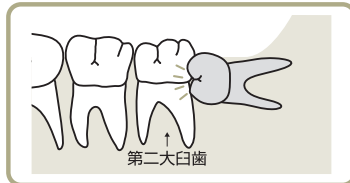
とくに何かトラブルがない限り抜歯の必要はありません。ブラッシングできれいに保ちましょう。

傾斜して生える



斜めや横向きに生えてきて、前にある第二大臼歯を圧迫するようなかたちになります。よごれもたまりやすくブラッシングも困難なため、隣の歯との間に、むし歯が発生しやすくなります。このような場合は、抜歯になることが多いです。

水平に生える



あごの中で横向きになったまま生えてこない状態です。あごの中で隣の歯の根を刺激して、歯の根やまわりの骨を溶かしてしまうことがあります。そのような場合は抜歯することになります。

水平埋伏

